

ふれあい チーム

おいしいお米がとれました

9月17日、ふれあい農園において小学校(3,4年生)による稲刈り体験が行われました。農業指導委員の佐藤さんから稲の刈り方の説明を受けて作業がスタートしました。稲を刈って、束ねてはさかけをします。この日は、地域おこ



し協力隊の二人も小学生の稲刈りをサポート。稲の束ね方を丁寧に説明したり、刈った

稲のはさかけをお手伝いしたり。心地よい天候の中、作業は順調に進みました。

この日、4年生には3年生に稲刈りを教えるという大切な任務があり、もう一度佐藤さんと作業の確認をし、3年生が稲を刈る時には見事な先輩ぶりを発揮していました。

メモリアル大会開催

妹背牛商業高校女子バレーボール部の精神を受け継いでいこうと例年行われている「北海道妹背牛商業高等学校メモリアルバレーボール大会」が今年で9回目迎えました。10月



8～10日の3日間、参加校13チームによる熱い戦いが繰り広げられました。高校生らしいはつらつとしたプレーに詰めかけた応援団も惜しみない拍手や声援を送っていました。

優勝は、旭川大学高等学校で昨年からの連覇となりました。参加校はお互いの健闘を称え、来年で10年目を迎えるこの大会での再会を誓い合っていました。

人形劇を楽しみました

10月6日、保育所園児たちと遊びの教室の乳幼児たちが、人形劇を楽しみました。札幌からやってきた劇団「ひよっこ」による公演です。また、この日は中学校の職場体験授業で保育所を訪れていた中学生とも交流を図り、子どもたちにとっては楽しいことが盛りだくさん。朝から心待ちにしていた人形劇も舞台が完成し、「フクロウの染物屋さん」というお話がスタートしました。もともとは白かったおしゃれなカラスを、注文通りに染めていくのですが最後は黒くなってしまのお話。子どもたちは目を輝かせながら舞台のキャラクターとの掛け合いを楽しみました。



中学校教育講演会

10月7日、中学校において教育講演会が開催されました。講師には、この夏クラーク記念国際高等学校北海道本校硬式野球部を甲子園に導いた佐々木啓司監督を招き、「心の成長」と題して講演をいただきました。基本的な生活がすべての礎になり、意識を変えれば行動が変わり、習慣が変わり、性格が変わる。すなわち心の成長であり、それにより運命が変わるとし、「中学生の皆さん

には心が成長するチャンスはたくさんある。運命を変えていくチャンスもたくさんある」とお話下さいました。名監督の言葉には力強さと重みを感じられ、生徒、教職員、保護者も興味深く講演を拝聴しました。



飲酒運転根絶！



9月28日「飲酒運転をしない、させない、許さない」のスローガンを掲げ飲酒運転根絶への道民の意識を向上させるため、全道各地を巡回するキャラバン隊が来町しました。

公益社団法人北海道交通安全推進委員会筆頭副会長吉野三郎様は「小樽で起きた飲酒運転による痛ましい事故を減らすべく全道各地に飲酒運転の撲滅を呼びかけていきたい」と挨拶されました。中山副町長も「交通事故死ゼロ3,000日に向けて町民一丸となり交通安全運動に取り組み、交通安全の意識を高めていきたい」と激励しました。

コープさっぽろ稲刈りツアー

9月17日、コープさっぽろお米探検隊「稲刈りツアー」がふれあい農園で行われ、約40名が参加しました。ラジオ体操で体をほぐしてから？お待ちかねの稲刈りがスタート。長靴をはき、かまを片手に稲を刈っていく参加者たち。「お子さんを連れてのリピーターの方が多いため、お子さんの成長も楽しみ」と目を細めてお話下さったのはコープさっぽろの担当者。稲刈りもひと段落したころには、子どもたちが田んぼのカエルを追いかけまわします。「多少汚しても都会ではなかなかできない体験だから」とお母様たちも納得して

いるご様子。お昼は、妹背牛産の新米とジנגスカンを堪能していました。



トドックスマイルキャラバン

「これからもつなぐ、とどける」をキャッチフレーズに生協の「宅配トドック」が10周年を迎えました。日頃の感謝の思いを伝えるため、北海道すべての市町村を巡る「トドックスマイルキャラバン for 179」を展開中。

9月27日にお馴染みのキャラクター「トドック」が妹背牛温泉ペペルを訪れ、ペペルの「pepper」がお出迎え。「ありがとう」の気持ちとともに中山副町長へ感謝状と記念品が贈呈されました。

温泉を訪れた入浴客も思わぬ来客に大喜びで、一緒に写真撮影を楽しんでいました。

